

ネコノミ

特徴と生態

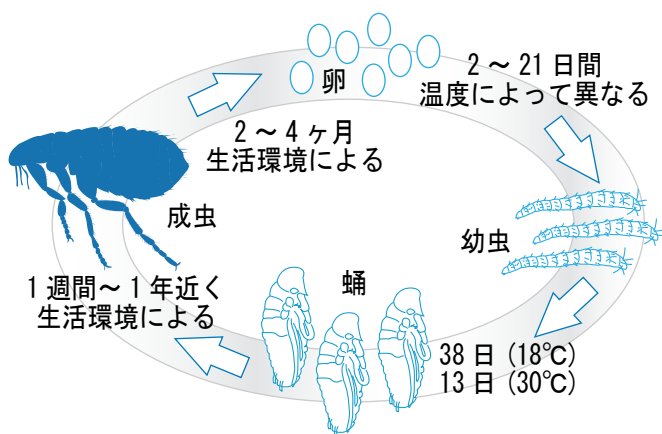


- 体長…雄：1.0～2.0 mm、雌：1.0～2.0 mm
- 体色…淡褐色～黒褐色
- ネコノミはネコの他に、ヒトやイヌにも寄生します。成虫は未吸血時は扁平ですが、吸血をすると豆のように膨らみます。よく発達した脚を持ち、特に後脚は長大で、30 cm程度跳び上がることができます。長期間飢餓に耐えることができ1～2か月吸血をしなくても生存できます。卵は短楕円形で直径約0.5 mm、明るい色をしています。幼虫はウジ虫型をしており吸血はしません。成虫の糞やフケ等の有機物を食べて育ちます。

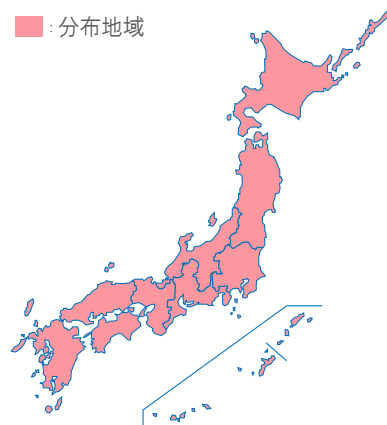
分布と発生場所

- 屋外においては、動物の巣や、のらネコなどの休む場所に多く見られます。外出した動物やヒトに付いて屋内へ侵入したノミ類は、幼虫の状態で、床板の継ぎ目、畳の隙間、カーペットの下、寝具、ペットの寝床、部屋の隅などで潜伏、繁殖します。

● サイクル図



● 分布図



● 発生時期



被害

- 寄生し吸血、数日間のかゆみを与えます。
ヒトや動物が出す炭酸ガスに反応して跳び付いてきますので、被害は、ひざ下に集中することが多いです。また、一か所の吸血ではなく、体表を伝い歩いて何か所も刺すので、刺された跡が1本のラインになります。

駆除

- まず、どこで被害が多いのかを確認して、発生場所を推測します。調査は、白系のズボンをはいて歩き回り、跳び付いてくるノミ類を目視する方法があります。大まかに発生場所を確認したうえで、駆除にあたります。
駆除は、鳥の巣や、動物の寝床にあるタオルケットなど発生源を除去、清掃し、その場所に有機リン系の薬剤を散布します。床下などに猫などが入り込めるような状況であれば、このような場所も処理します。幼虫は、地中に潜っていますので、殺虫剤がよく行きわたるように処理します。室内で発生した場合、頻繁に掃除機をかけることで、卵、幼虫、さなぎだけでなく、成虫の駆除にも効果があります。また、掃除機をかけた後は、ごみパックをビニール袋に入れて、封をし、ノミが出てこないように注意して下さい。